



笑顔未来につなげよう

セーフコミュニティ こおりやま



セーフコミュニティとは？

セーフコミュニティとは「けがや事故は、原因を究明することで予防できる」という理念のもと、市民の皆様と行政や関係機関、団体、組織等が協働して、安全・安心に暮らすことができるまちづくりに取り組む地域のことです。

WHO（世界保健機関）が推奨するセーフコミュニティは、安全・安心なまちづくりの国際認証制度であり、国際セーフコミュニティ認証センターが認証します。



郡山市の安全・安心のために

セーフコミュニティのキーワードは「協働」と「データ」

【セーフコミュニティに取り組むには】

セーフコミュニティに取り組む上でのキーワードは、「**協働**」と「**データ**」です。

はじめに、「けがや事故」をデータから分析して、その原因を究明します。そして、原因が分かったら、けがや事故を減少させるために必要な対策を考え、地域住民や団体、行政等が連携・協働により、対策を実施することで、安全で安心なまちを目指します。



住民、団体、行政が連携・協働して安全で安心なまちづくりに向けて、改善を加えながら活動を継続します。

セーフコミュニティの取組手順 (S+PDCAサイクルの活用)

① SEE (安全診断)



けがや事故件数はどのくらいあるのかな？

まずは地域のけがや事故について、データで確認してみましょう！



改善を加えながら、①～⑤を繰り返すことで「けがや事故」の減少につなげます！

⑤ ACTION (工夫改善)

防犯パトロールの回数を増やしたら効果があるかも！



みんなで対策の内容を振り返って改善しよう！



② PLAN (対策の計画)



どんなことをすればけがや事故を減らせるかな？

防火訓練や防犯パトロールをいろんな団体と一緒にやってみるのはどうかな？



③ DO (対策の実施)

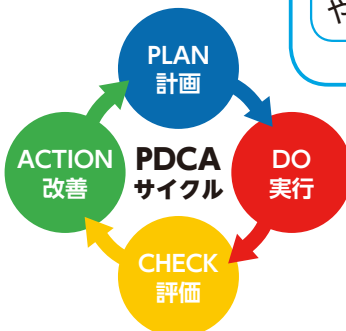


④ CHECK (対策の効果検証)



対策を実施して効果はあったかな？

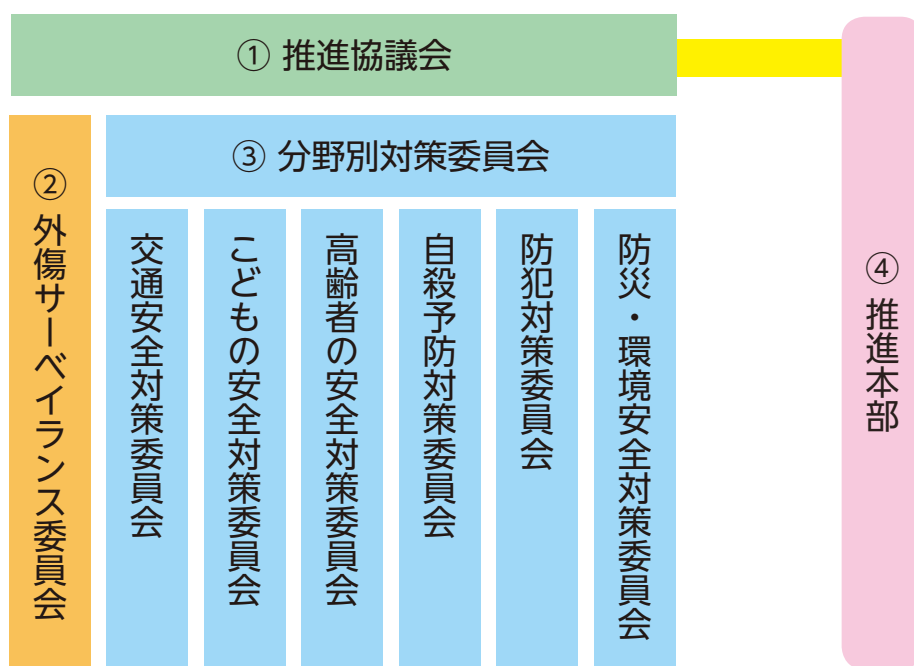
みんなで検証してみよう。



セーフコミュニティに取り組むことによる効果

- ① けがや事故の減少により、市民の誰もが希求する「安全・安心」が向上する。
- ② 安全・安心への取り組みを通じて、地域住民、関係機関、各種団体と行政が協働することにより、情報や連帯意識を共有できる。
- ③ 国際基準による安全・安心の取り組みを行う自治体として地域イメージが向上する。

郡山市のセーフコミュニティ推進体制



① 推進協議会

- ・役割：分野の垣根を越えた全市的な推進母体
- ・構成：市長を会長に、地域活動団体や関係機関など43団体の代表者等で構成

② 外傷サーベイランス委員会

- ・役割：外傷データ等の収集・分析及び対策委員会の活動の検証
- ・構成：地域医療の関係者、関係機関、行政の代表者等で構成

③ 分野別対策委員会

- ・役割：分野別の課題解決に向けた専門部会
- ・構成：推進協議会構成組織及び各分野において積極的に活動を展開する団体の代表者等で構成

④ 推進本部

- ・役割：行政としての取り組み方針の決定
- ・構成：市長を本部長とし、部長職以上の職員で構成

郡山市セーフコミュニティのあゆみ

2014年	11月	セーフコミュニティ取組宣言
2015年	5月	推進協議会、外傷サーベイランス委員会設置
	7月	6つの分野別対策委員会活動開始
2016年	11月	認証審査員による事前指導
2017年	8月	認証申請書の提出
	11月	海外審査員による現地審査、認証内定
2018年	2月	認証取得(県内初、国内15番目、世界で391番目)
2019年	2月	認証1周年記念セーフコミュニティフェスタ開催



セーフコミュニティ国際認証取得



セーフコミュニティフェスタの様子



パネル展示



消火体験



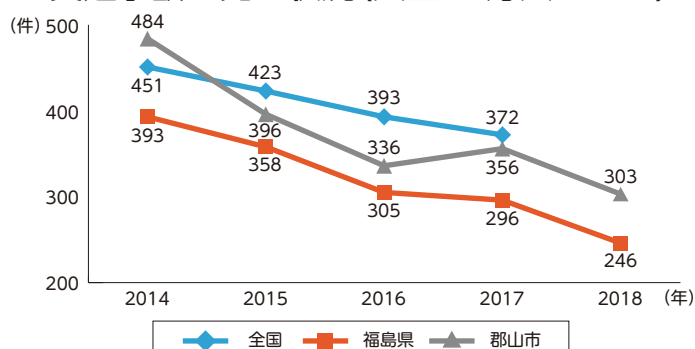
講演会

セーフコミュニティの今後の取組

- セーフコミュニティを中心的概念とした協働による安全で安心なまちづくり
- セーフコミュニティの理念に基づく事業の推進
- 地区・地域におけるセーフコミュニティ活動の推進
- ICTを活用したデータの収集・分析
- 企業との連携
- SDGS(国連持続可能な開発目標)活動の推進
- 連携中枢都市圏への活動の拡大
- 個人でも家庭でも実践できるセーフコミュニティ活動の普及、啓発、実践

交通安全対策委員会の取組

交通事故の発生状況(人口10万人あたり)



警視庁「警察白書」、福島県警察本部・郡山警察署・郡山北警察署「交通白書」より

安全運転を
心がけよう！



交通事故の発生状況

◆セーフコミュニティの取組開始(2014年)から、郡山市では大幅に減少。

【郡山市における交通事故発生件数】
(人口10万人あたり)

484件

2014年
(取組宣言時)



減少

303件

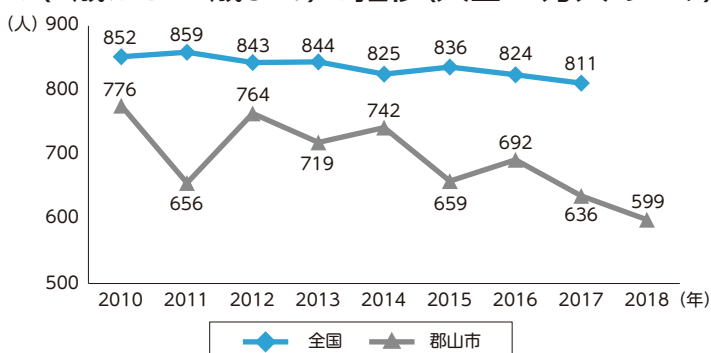
2018年

交通安全対策委員会の取組の一例

・自転車事故による賠償請求の例を掲載したチラシを市内の高校生全員に配付。

こどもの安全対策委員会の取組

交通事故及び一般負傷で救急搬送された子どもの(0歳から17歳まで)の推移(人口10万人あたり)



総務省消防庁「消防白書」、郡山地方広域消防組合「平成救急搬送データ(国表)」より



救急搬送された少年の推移

◆全国的に減少傾向にあるが、郡山市では大幅に減少。

【交通事故及び一般負傷で救急搬送された子ども(0歳から17歳まで)の推移】
(人口10万人あたり)

742件

2014年
(取組宣言時)



減少

599件

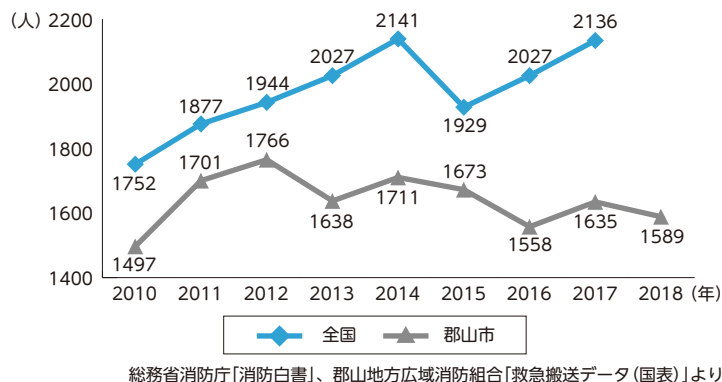
2018年

こどもの安全対策委員会の取組の一例

・「事故予防モデルルーム」を活用した自宅での事故防止に関する講習会の開催。
・子育て支援施設で泣き止ませようと激しく揺さぶる虐待行為の危性等に関するDVDを上映。

高齢者の安全対策委員会の取組

救急搬送された高齢者の推移(人口10万人あたり)



救急搬送された高齢者の推移

◆全国では増加傾向であるが、郡山市は横ばい傾向である。

【郡山市における高齢者の救急搬送者数】
(人口10万人あたり)

1,711人

2014年
(取組宣言時)



減少

1,589人

2018年

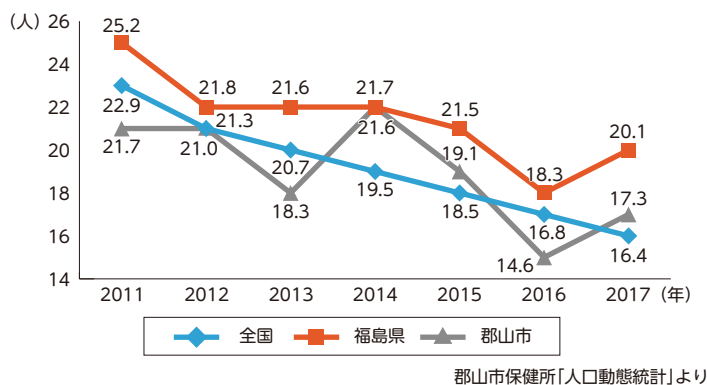
高齢者の安全対策委員会の取組の一例

・転倒によるけがを予防するため、「いきいき百歳体操」をはじめとする介護予防教室を、広報等を通じて普及啓発。



自殺予防対策委員会の取組

自殺者数の推移(人口10万人あたり)



自殺者数の推移

◆郡山市における自殺者数は増減を繰り返しているものの、減少傾向にある。

【郡山市における自殺者数】
(人口10万人あたり)

21.6人

2014年
(取組宣言時)



減少

17.3人

2017年

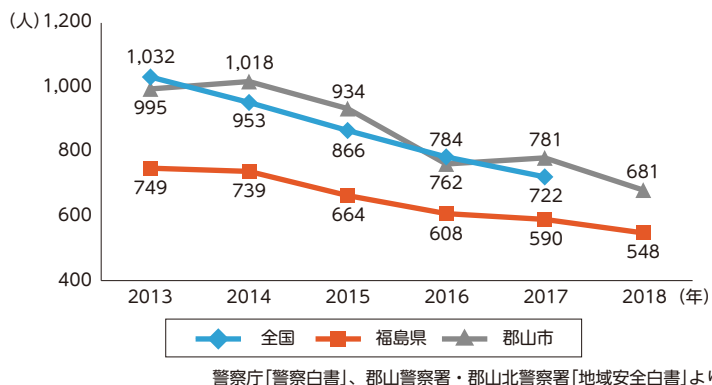
自殺予防対策委員会の取組の一例

・自殺予防キャンペーン(9月)の実施。
自殺予防の周知啓発を目的に、作成したチラシ等を配布する街頭活動を郡山駅前で実施。
[自殺予防対策委員会と郡山市、福島県理容生活衛生同業組合郡山支部の皆さんと協働実施]



防犯対策委員会の取組

刑法犯認知件数の推移(人口10万人あたり)



刑法犯認知件数の推移

◆2014年の取組宣言時に比べ、郡山市では減少傾向が続いている。

【郡山市における刑法犯認知件数】
(人口10万人あたり)

1,018件

2014年
(取組宣言時)



681件

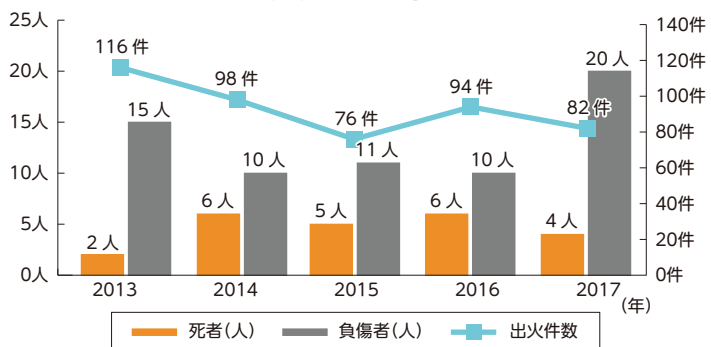
2018年

防犯対策委員会の取組の一例

・国際アート&デザイン学校の皆様にご協力いただき、「見られていますよ! ステッカー」を3,000枚作成し、ステッカー貼付けにご協力いただける企業・団体・各家庭へ順次配布。

防災・環境安全対策委員会の取組

火災の発生状況



火災発生状況

◆火災件数は減少傾向にあるものの、死傷者数は増減を繰り返している。

【郡山市における火災発生件数】

98件

2014年
(取組宣言時)



82件

2017年

防災・環境安全対策委員会の取組の一例

・住宅用火災警報器の設置促進活動や学校、公民館等での地域防災マップ作成及び防災出前講座の普及促進を行い、市民の防災意識の高揚を図る。

できることから始めてみませんか！

【一人でもできるけがや事故の予防】



転倒・転落防止のため床や階段等に物を置かない



ベッドからの転落に注意する



歩きながら携帯電話の操作をしない



イヤホンで音楽を聴きながら自転車に乗らない

【既存の取組を活かすセーフコミュニティ】



市内には、交通安全教室や防災訓練、こどもの見守りや高齢者の介護予防運動など、安全・安心のため、各団体がそれぞれに活動しています。

これら既存の団体のけがや事故の予防活動に「データ分析」を加え、他の団体と情報を共有して「一緒に活動すること」(協働)を加えれば、まさにそれこそが、セーフコミュニティ活動です。

皆さんも、安全・安心なまちづくりのため、できることから始めてみませんか？

「きらめき出前講座」

郡山市では、セーフコミュニティへの理解促進のため「きらめき出前講座」を行っております。

説明時間は、10分程度から120分程度まで幅広く対応し、集会所や会議場、スポーツ大会の会場など、人数に関係なくどんな場所にでもお伺いして、セーフコミュニティについてお話をさせていただきます。

詳しくは、郡山市 市民部 セーフコミュニティ課(電話 924-2151)まで、お気軽にお問い合わせください。

セーフコミュニティの情報は

郡山市 セーフコミュニティ

検索

発行 2019(平成31)年3月
郡山市 市民部 セーフコミュニティ課
セーフコミュニティ推進室
電話 024-924-2151 FAX 024-921-1340
印刷 株式会社アイ・エム・ディ



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。